

## 「男前」 Keiichi Nakano

皆さんは「男前」という言葉をご存知ですよ。

皆さんにとっては男前とは何ですか？もしくは誰ですか？

はっきりとした意味をご存知ではない方に説明しましょう。「男前」とは本来、男らしく、凛として、しかも精力的に行動する男のことです。この言葉の由来は日本の古典芸である歌舞伎からで、立ち役（つまり男型）の動きの華麗さとたくまじさが「男前」と評価されることに由来します。

ですから、「男前」かどうかは本来、動き・行動、で判断されるべきですが、最近では外見だけをしめす間違った使われ方をしていることが多い様です。

それは、ぼくが家族といっしょに親戚の結婚式に行った時の出来事です。僕には顔の良い、いわゆるイケメンの弟がいます。その弟が会場ですに座ると周りの人達から「いや～男前ですね」と言われました。行動はいすに座っただけ、しかも座り方がものすごい男らしいという訳でもないのに、やはり周りの人達は外見の良さを評価する意味で「男前」を使ってしまったのです。

現代の日本ではこのような使われ方が当たり前になって来てるようです。

日本で、ある若い美男子のみが所属するタレント事務所があります。そのイケメンタレントがトーク番組に出演し、司会者が「まさに、男前ですね」と軽く言ってしまう事があります。テレビの力が大きく、視聴者（特に男性達）はこの美男子タレントたちを意識し、自分の行動や振る舞いよりも、外見にばかり関心を持つようになってきているようです。今の日本の若い男性達は髪を整え方や服装を取り付かれたように気にし、話によるとまゆ毛をぬいて整えるのまで当たり前になってきてるそうです。

昔の日本には男前の行動にふさわしい人物はたくさんいました。坂本龍馬はその一人です。坂本龍馬は死ぬことおそれず、国の未来のため一心に戦い続けました。その坂本龍馬は「おれは落胆するよりも次の策を考えるほうの人間だ」の様な言葉を残し、否定の無い行動の立派な男前だと今でも評価されています。

しかし、いつからかイケメンタレントが男前と呼ばれ、日本には本来の意味で、男前と名のれるほどの人物のいない時代になりつつあるように思えます。

オーストラリアは日本と比べると歴史が短いので、坂本龍馬のように国を動かすような人物はまだ存在していませんが、現代でも小さなところで活躍する男前たちが沢山います。

最近僕がバララットに旅行に行った時に気づいたことです。僕は道もわからずバスの運転

手に行き方をたずねたところ「そこまで行ってあげるよ」と言い、乗るよう合図しました。降りるときに僕がお礼を言うと「これが僕の仕事だから。それよりも楽しんでください。」と言われました。最後に見たこの運転手の笑顔はどこのイケメンタレントの顔よりもかっこよく輝いて見えました。このたび先で触れた小さな思いやりに、これぞ男前だとぼくは思いました。

(それから日本ではあまり見かけませんが、メルボルンでは乳母車でトラムに乗ろうとする女性を男のじょうきやくが当たり前のように車内に運び入れることを手伝います。小さな子供を抱えて乳母車をトラムの車内に運び入れるのは一人では大変です。ですからこれも思いやりのある立派な男前の行動だと思います。)

日本でも人々が顔やスタイルの美しさを基準に他人を判断するよりも、人間の行動・内面を見ることを忘れず、進んで人を助ける、努力すると言う心を持ち行動すれば、日本の若い男の子たちも自分のまゆ毛よりもほかの人や社会全体のことを考えるようになるかもしれません。

ありがとうございました。